

春休み企画

「ふらっと街中のマングローブであそぶ」

プログラム内容

①木道からの生き物観察（晴れの日・雨の日）

漫湖水鳥・湿地センターの木道で、専門ガイドが、マングローブ・水鳥・カニなどの生き物をご案内します。ラムサール条約登録湿地である漫湖では、およそ 200 種類の鳥類が観察でき、運がよければ絶滅危惧種のクロツラヘラサギも見ることができます。また、鳥たちの餌となるカニや貝、ゴカイなどの底生生物も沢山います。那覇の中心地からほど近い都会にある湿地ですが、熱帯・亜熱帯特有植物である、マングローブ林も間近で観察することができます。

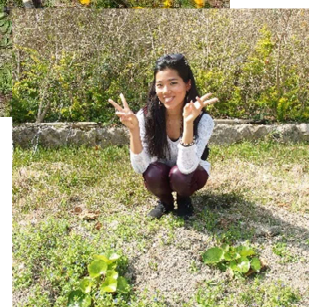


ガイドと一緒に、漫湖周辺を散歩しながら双眼鏡を使って水鳥を観察します。漫湖は水鳥たちの楽園とよばれるほど多くの水鳥を見ることができます。これまでおよそ 200 種の鳥類が観察され、クロツラヘラサギなど世界的にも数が少ない貴重な鳥もやってきます。冬の寒い時期は鳥が渡って来るピークで、ハマシギ、ダイゼン、アカアシシギ、ダイシャクシギなども見られる他、夕方になるとムクドリ類も見られます。



③植栽活動（晴れの日）

一昔前は川だった埋め立て地の遊歩道沿いに、水辺の植物を中心に植栽をします。植える植物は南国の水辺で育つサガリバナや、ハマオモト、ツワブキなどです。



・雨の日

④展示物解説（雨の日）

漫湖の歴史と自然を紹介したビデオを見たり、ジオラマやはく製を見ながら湿地とそこに住んでいる生き物について学びます。ジオラマにはたくさんの生き物が展示されているので、漫湖の生態系が一目で分かります。



⑤木の实のお土産づくり（雨の日）

国場川の岸边には、上流から木の实や種が流れ着きます。このような水辺植物のたねを使い、手作りで世界に1つしかないお土産を作ります。不思議な形の種が魅力的なアクセサリーへと大変身します。

